

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	1	地域でのふれあい、支えあいをすすめます
主な取り組み	01)	ふれあい活動・支えあい活動に対する支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取り組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
1	地域の交流イベント等への参加への支援	障がい福祉課	福祉健康フェア入場者数	28	2,300	人	(H28年度) かまがや福祉健康フェアのPRのため社会福祉課と連携して自治会回覧等の周知活動を行った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①平成29年度も引き続き福祉フェアの周知を実施する。 ②参加団体等と調整して検討していく。
				29					
				30					
				31					
				32					
2	老人クラブへの支援	高齢者支援課	会員数	28	1,482	人	(H28年度) 老人クラブ加入促進のためパンフレットを市のクラブ連合会と協働して作成、各クラブや窓口にて配布し、会員の増強をはかった。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①会員全体の年齢が高齢化していること。 ②おおむね60歳以上について各年代の社会参加意識を広め、老人クラブで活動することへの関心を持ってもらう。
				29					
				30					
				31					
				32					
3	ふれあいサービス事業	社会福祉協議会	会員数	28	101	人	(H28年度) 家事援助等を中心とした有料福祉サービスふれあいサービスを実施した。また、協力会員募集及び研修会を年6回実施し、サービスの担い手を確保することが出来た。また、利用会員の約8割が高齢者世帯であるが、行政と連携し子育て世帯に対する利用の促進に努めた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①協力会員の確保については、福祉経験者の会員登録が増える一方で、協力会員の協力エリアの一部に偏りがあるなど今後、地域性も重視し、市民の参加が得られやすい担い手の確保が必要。
				29					
				30					
				31					
				32					
4	福祉の学習機会の推進	障がい福祉課	実施回数	28	2	回	(H28年度) 小学校における福祉学習として、障がい者の身になって車いすやアイマスクの体験を2回実施し、障がい者への理解を深めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①福祉学習の一環として、引き続き学校で体験学習を実施していく。 ②多くの学校での実施が望まれる。
				29					
				30					
				31					
				32					
		高齢者支援課	開催回数	28	6	回	(H28年度) 小中学校に認知症サポーター養成講座の開催を打診。6回開催でき、小中学生に認知症についての対応方法を伝えることができた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①開催できる学校を増やし、全校での実施を目標とする。 ②多くの小中学校で講座開催について検討してほしい。
				29					
				30					
				31					
				32					
		社会福祉協議会	参加人数	28	846	人	(H28年度) 市内小学校・自治会・福祉行政で行う福祉体験等にボランティアの協力を得て講師を派遣し、福祉の理解を深める学習機会に協力した。 ①中部小・初富小手話クラブ・初富小JRC・道野辺小:参加総数370名 ②南初富連合自治会・東武鎌ヶ谷駅前自治会:参加総数410名 ③福祉行政各課によるボランティア育成事業:参加総数66名	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①小学校での福祉体験については、車椅子・アイマスク・手話・点訳・高齢者疑似体験等、障がいについて理解が深まる内容であり、児童の思いやりを育てる福祉教育の一環として、今後も関係者との連携に努める。
				29					
				30					
				31					
				32					
5	地域支えあいの促進	障がい福祉課	開催回数	28	3	回	(H28年度) 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会において、地域における障がい者等への支援体制に関する課題を共有し、関係機関と連携を図ることにより必要な支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①地域の課題を整理・共有し、必要とされる支援を実現していくため、今後も活発な自立支援協議会の運営が必要であることから、自立支援協議会専門部会の運営上の問題点などを整理する必要がある。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
4	福祉の学習機会の推進	障がい福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ●学校現場の先生が、福祉講座にどんな物があるか悩むことが多いと聞くと、先生に向けた情報をもっと伝えることを実施したら良い。
全般	障がい福祉課 高齢者支援課 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●地域での支え合いを促進させるためには、自治会を巻き込んだ活動が必要。 ●鎌ヶ谷市には100を超える単位自治会があり、それぞれ遭遇している環境が異なっており、そこから出てくる要望も違ってくる。 ●自治会を一括して捉えると多くの要素を考慮することになり、テーマがまとまらなくて苦労することも多い。それぞれの自治会に声をかけて、そこから出てくる問題点に目を向けると、もう少し具体的なテーマが出てくるのではないかと。 ●市全体に通用するようなテーマではなく、地域に即した個別のテーマを追求することを考えてもよいのではないかと。 ●自治体のそれぞれの部署が、各地域の単位自治会に声をかけて、自治会と協働で実施できるような、地域福祉がらみのテーマを探すことを考えれば、地域でのふれあい、支え合いや、支え合い拠点を増やすことに繋がると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会活動の担い手が、ボランティア活動の担い手になっていることも多い。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	1	地域でのふれあい、支えあいをすすめます
主な取り組み	02)	市民との協働による地域福祉活動の支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
6	地区ふれあい員制度	市民活動推進課	地区ふれあい員委嘱数	28	474	人	(H28年度) 自治会連合協議会会長が地区ふれあい員を委嘱した(474人)。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①地区ふれあい員の研修 ②地区ふれあい員による地域の見守り
				29					
				30					
				31					
				32					
7	自治会加入促進対策の実施	市民活動推進課	PRチラシ配布数	28	6,000	枚	(H28年度) 自治会加入促進PRチラシを作成し、市民課で転入者向けに配布したほか、公共施設や宅地建物取引業協会市川支部鎌ヶ谷地区会員店舗にて配布を依頼した。また、様々なイベント等の場でも配布した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①自治会加入促進PRチラシの配布 ②自治会加入の勧誘
				29					
				30					
				31					
				32					
8	健康づくり・体操の会への支援	健康増進課	健康教育実施延数	28	33,396	人	(H28年度) 地域で行われている老人会、談話室、体操の会等で、栄養士、歯科衛生士、保健師、健康づくりボランティアが健康教育を実施し、市民の健康づくりや介護予防へとつながった。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①参加者や地域の健康課題を捉え、健康課題解決に向けた健康教育を実施していく。加えて、歯周病検診の周知、朝ご飯を摂る事、高血圧、糖尿病予防、若い世代を対象とした教育を重点的に実施していく。 ②市民や地域の集まりの際に、健康づくりに関する内容をプログラムに取り入れていただきたい。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること	
6	地区ふれあい員制度	市民活動推進課	<ul style="list-style-type: none"> ●地区ふれあい員に個人差があり、どこまで立ち入っていきけるかが問題。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区の民生委員が中心となり、一人につき200~300世帯を受け持ち、相談に乗っている。 ●自治会では、地区ふれあい員が50世帯に1人の割合で選出され、隣近所の方々の相談相手になり活動をしている。
7	自治会加入促進対策の実施	市民活動推進課	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会未加入者へのチラシ等の配布方法を検討する必要があるのではないか。 ●自治会加入促進について、十分な対策をされ努力されているが、年々減少傾向にあることも事実。 ●平成28年度の進捗状況の報告では「順調に進んでいる」とあるが、なぜ加入しないのか原因調査を行うことと、それにより新たな対策を検討してほしい。 	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	1	地域でのふれあい、支えあいをすすめます
主な取り組み	03)	乳幼児、児童から高齢者まで地域で見守る体制の充実

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
9	緊急通報システム事業	高齢者支援課	利用者数	28	42	人	(H28年度) 昨年度と同様に事業を実施。機器の設置により心疾患などをお持ちの高齢者の在宅生活の見守りに役立つものとなっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①近隣の協力員(緊急対応時に消防・業者とともに連絡を受ける)を申請時に決めてもらうが、人によりその協力を求めることが困難であること。 ②地域での協力体制づくり。
				29					
				30					
				31					
				32					
10	徘徊高齢者位置情報提供サービス事業	高齢者支援課	利用者数	28	9	人	(H28年度) 昨年度と同様に事業を実施。徘徊のある高齢者に位置検索端末機を貸し出し、介護者の負担を軽減する。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①徘徊のある高齢者が端末機を身に付けていないと効果がない。 ②日頃から徘徊のある高齢者の見守りをお願いしたい。
				29					
				30					
				31					
				32					
11	ひとり暮らし老人等給食サービス事業	高齢者支援課	利用者数	28	51	人	(H28年度) 昨年度と同様に事業を実施。給食の配達をすることにより利用者の安否確認と栄養の提供に役立った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①サービス利用者が外出する際に連絡をし忘れることがある。 ②利用者の意識改善、地域の声掛け。
				29					
				30					
				31					
				32					
12	子育てサポーターの人材育成	こども支援課	サポーター研修の実施	28	15	回	(H28年度) 子育てサポーター研修 12回/年 実施 延べ363人参加 新規サポーター養成講座 3回/年 実施 サポーター登録者数 43名	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①仕事を持っている方もいるため、研修参加が少なくなってしまう方もいる。内容については、報告書を送付して周知を図っている。 ②市民からの声をアンケートなどで聞き、研修内容にも取り入れながら、スキルアップにつなげていく。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
9 10 11	緊急通報システム事業 徘徊高齢者位置情報提供サービス事業 ひとり暮らし老人等給食サービス事業	高齢者支援課	●なかなか大変難しい事業の中、業者・コンビニエンス等さまざまなタイアップがされていて良い。
10	徘徊高齢者位置情報提供サービス事業	高齢者支援課	●徘徊している高齢者らしき人を発見した時にどこへ連絡するか、どのような対応をとるかを自治会等を通して周知いただければ、協力できる。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	1	地域でのふれあい、支えあいをすすめます
主な取り組み	04)	民生委員児童委員、保健推進員などの活動支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)	
13	民生委員児童委員活動の支援	社会福祉課	民生委員・児童委員の実数	28	155	人	(H28年度) 平成28年12月の一斉改選において、地区社会福祉協議会や地区自治会とともに手不足の解消に取り組んだ結果、155名の民生委員児童委員及び主任児童委員を委嘱することができた(定数157名)。活動内容の充実強化を図るため、鎌ヶ谷市民生委員児童委員協議会運営に必要な経費に対して補助を行った(1,439千円)。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①ひとり暮らし高齢者や生活困窮者の増加、子育て支援の拡充など多種多様な課題に対し、委員の負担が重くなってきており、民生委員児童委員及び主任児童委員へのフォローが課題。 ②民生委員の活動内容を理解してもらい、民生委員の活動に協力していただければと思う。また、地区ふれあい員と民生委員が協力し合って地域の支援ができればいいと思う。	
				29						
				30						
				31						
			相談・支援件数	28	1,139	件				
				29						
				30						
				31						
		社会福祉協議会	理事会、会長会等	28	28	回		(H28年度) 28年度は、3年に一度の一斉改選年度に当たり、事務局として、民生委員活動の幹となる鎌ヶ谷市民生委員児童委員協議会の組織作りを支援した。また、新任委員については、行政組織や県民児協と共に研修や個別の相談に応じ、委員の活動が円滑に行える支援をした。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①全委員の約2割が新任となり、各地区ごとに毎月実施する定例会を中心に、新任委員への研修を重ねているものの、地域性や相手方(地域の相談者)によって、対応が多岐に渡る場合もあり、任期が浅い委員も含め、引き続き研修の機会を設ける必要がある。
				29						
				30						
				31						
14	保健推進員活動	健康増進課	保健推進員訪問、4か月児健康相談来所者、赤ちゃんサロン来所者	28	2,594	人	(H28年度) 2~3か月児のいる家庭への全戸訪問の他、赤ちゃんサロンや乳児健康相談への参加を通し、市民の身近な相談者としての活動を実施し、活動を通し支援が必要な家庭には地区担当保健師につないだ。また、訪問時に必要な知識等の習得や円滑に活動が出来るよう1回/月の研修会を実施し支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①保健推進員がやりがいを持ち、不安なく活動できるよう、研修会で活動目的等についての確認を行い、地区担当保健師との情報交換や話し合いの機会を積極的に持ち、活動を支援する。 ②活動の効果が理解できるよう、保健推進員による支援を受けた感想を、フィードバックしてもらおうと共に、市民への周知が効果的にできる場を教えていただきたい。	
				29						
				30						
				31						
				28						
				29						
				30						
				31						

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
13	民生委員児童委員活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●地区民生委員児童委員の定例会に、多くの担当課が参加する必要がある。 ●民生委員・児童委員の高齢化に伴い、健康を害する方もおり、民生委員だけでの見守り活動についてこれからの課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区ふれあい員さんの協力、自治会との連携をとりながら多様化してきている市民の福祉ニーズをどう繋げるか、地域包括支援センターや保健師さんと連携を密にして定例会で事例をあげて勉強している。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	2	地域での支えあい拠点を増やします
主な取り組み	05)	活動拠点の整備と活用

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
15	地域活動支援センターへの支援	障がい福祉課	地域活動支援センター利用者数	28	36	人	(H28年度) 鎌ヶ谷市の援護する障がい者の通所する地域活動支援センターⅢ型事業所(市内3か所、市外3か所)に対して、補助金を支出した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①サービスの選択肢が多様化する中、本市内の社会資源やニーズに見合った支援が課題である。
				29				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
				32					
16	自治会集会所整備に対する支援	市民活動推進課	自治会集会所整備件数	28	0	件	(H28年度) 平成29年度以降に自治会集会所整備を実施する自治会に対して、第4次実施計画への位置付けを行った。(6件)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①第4次実施計画に位置付けられた自治会集会所整備計画に係る支援 ②自治会集会所整備計画に係る地元合意の形成
				29				<input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
15	地域活動支援センターへの支援	障がい福祉課	●6ヶ所の地域活動支援センターで利用人数が36名となっているが、もう少し増やす広報活動等が必要。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	2	地域での支えあい拠点を増やします
主な取り組み	06)	地域福祉コーディネーター(相談員)の配置と相談体制の充実

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取り組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
17	地域福祉コーディネーターの配置	社会福祉協議会	人員配置	28	0	人	(H28年度) 6地区社協の事業を統括する人材を採用し、地域の相談窓口等の充実を目標としているが、専門員の募集はかけているものの、採用に至っておらず、専門員の配置ができていない。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①職員募集をかけており、採用が決まり次第、各地区コーディネーターと連携し、相談体制の強化に努める。
				29				<input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
				32					
18	地域福祉コーディネーターの研修	社会福祉協議会	事務局会議等	28	11	回	(H28年度) 地区社協事務局会議(7回/年)において、各地区の事業内容の情報交換をするほか、市民からの相談への対応の仕方を共有したり、実際あった相談事例に対し、全体で対応方法を探るなどした。また、市社協が実施する研修会「相談を受ける基本姿勢」等への参加を促し、相談スキルの資質の向上に努めた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①今後も、定例的な会合において、福祉情報の共有と相談技法の向上に努めると共に、相談に係る専門化による講習会等にも参加を促すようにする。
				29				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
17	地域福祉コーディネーターの配置	社会福祉協議会 ●専門職の早期採用が必要。 ●現状の人員体制であれば、大変。早く人員確保をして頂きたい。	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	3	ボランティアなどの多様な担い手を増やします
主な取り組み	07)	ボランティア活動への多様な人々の参加促進や人材育成等の総合的な支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
19	ボランティアの活動しやすい環境づくり	市民活動推進課	情報提供数(チラシ掲示、HP記事掲載)、及び相談件数	28 29 30 31 32	361	件	(H28年度)ボランティアが活動しやすい環境となるよう、市民活動推進センターにおいて、あらゆる機会を捉え、チラシの掲示(189件)、HPの記事掲載(72件)を行った他、相談事業を行い(100件)、ボランティア活動の情報提供やボランティア、市民公益活動、地域活動を希望している人をつなぐ窓口を充実した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①本市の事業に若者のボランティアを受け入れることができるよう、環境を整える。 ②本市にある高等学校や、近隣の大学に、学生の事業参画をお願いしたい。
		社会福祉協議会	相談件数	28 29 30 31 32	3,578	件	(H28年度)地域のボランティア情報や福祉ニーズの把握など、福祉活動に繋がるボランティア活動の情報収集と情報提供に努めた。また、市民活動に関する市民からの問い合わせについては、窓口である市民活動推進課と情報共有を行うことで、適切に対応することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①福祉活動につながるボランティア情報の収集及び情報提供に努める。
20	市民に対する啓発の推進	市民活動推進課	講座の実施	28 29 30 31 32	10	回	(H28年度)地域活動に興味がある市民を対象に、多様な主体の橋渡しを行う「地域づくりコーディネーター」の育成を目的とした講座「かまがや地域づくりコーディネーター養成講座2016」を10回実施した。その結果、受講者が実際に地域活動に取り組みはじめたり、市内の多様な主体の橋渡しを行う団体(中間支援組織)に加入し、活動を充実させるなど、地域活動がより盛んに行われるようになった。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①「地域づくりコーディネーター養成講座」の受講者がコーディネーターとして活動しやすい環境を創出できるよう、市が「地域づくりコーディネーター」を認定する制度を実施する。 ②本市における「地域づくりコーディネーター」の周知のためにも、上記認定制度への申込みに協力してもらうことに加え、市民や市民団体の代表等で構成される協働推進委員会において、認定制度の申込者の審査をお願いしたい。
		社会福祉協議会	講座の実施	28 29 30 31 32	25	コース数	(H28年度)ボランティア活動に関心のある方や活動中のボランティアに対し、各種講座や市民ボランティア体験等の開催について、市広報紙・社協広報紙・HPの掲載、またチラシ・ポスターを公共施設や自治会班回覧(一部の地区)などにより配布し、ボランティアに関する情報を発信した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①市民にわかりやすい内容で、ボランティアセンターのパンフレットを作成し、配布を検討する。
21	ボランティアの育成と連携機能の強化	学校教育課	青少年赤十字宿泊活動	28 29 30 31 32	2	回	(H28年度)市内全小中学校が青少年赤十字に加盟しており、奉仕の精神に則り様々なボランティア活動を実施している。夏休みに各学校の代表児童生徒を集めて、青少年赤十字の実践活動普及を目的とした宿泊研修を実施した。さらに推薦された児童・生徒約30名を冬休みに集めてリーダー育成宿泊研修会を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①青少年赤十字の指導技能の高い指導者の育成が課題である。 ②特記事項なし
		社会福祉協議会	夏休み福祉講座	28 29 30 31 32	36	人	(H28年度)ボランティアに参加しやすい夏季休暇中に、福祉への理解を深める目的で、児童・生徒・大学生向けに、福祉施設・団体等と連携し、ボランティア活動が体験できる「夏休み福祉講座」(参加総数36名)を開催し、将来福祉の担い手となるきっかけづくりとして、ボランティア育成に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①将来の担い手確保に向けて、若い世代のボランティア体験について、学校・福祉施設・団体関係者と連携し、今後も継続して協力する。
22	健康づくりボランティア育成事業	健康増進課	健康づくりボランティア登録数	28 29 30 31 32	89	人	(H28年度)ボランティアの育成として、定例会を5回実施、延162人の参加があり、定例会後に通信を発行し、欠席者も定例会の内容を共有できた。また定例会の他に健康づくりボランティア研修会を実施し、30名の参加があり、資質向上が図れ、活動の場が拡大した。さらには、講座を通し新たに活動する方も増えた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①元気アップカレッジや口からはじめるアンチエイジング講座を実施し、講座受講者がボランティアにつながるよう支援する。健康づくりボランティアの資質向上のための研修会を実施する。 ②健康づくりボランティア活動に関心を持ち、講座等に積極的に参加してほしい。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	3	ボランティアなどの多様な担い手を増やします
主な取り組み	07)	ボランティア活動への多様な人々の参加促進や人材育成等の総合的な支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
23	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)	こども総合相談室	提供会員数	28	167	人	(H28年度) 利用件数が2,120件と増加し、必要な対象にサポートが出来たと思われる。提供会員も前年度と比較し増加した。その要因は、児童センター等で周知活動を行ったためと思われる。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①子どもを預ける一つの手段としてのニーズが高まる中で、提供会員を確保する必要がある。 ②様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行うものという活動の主旨を、子ども子育て応援展、各児童センター、市内大型店舗等で周知活動をしていく。
				29					
				30					
				31					
				32					
24	ボランティアセンター事業	社会福祉協議会	ボランティア登録人数	28	1,201	人	(H28年度) 福祉活動に関するボランティア窓口として、相談・連絡調整・育成等に努めた。また地域福祉の大切さを広く市民に広め、テーマ別各種講座の開催や市民向け・児童生徒向けボランティア体験等を実施し、新たなボランティアの掘り起こしと活動に必要なスキルアップに努めた。また今年度は企業の社会貢献活動についてボランティアとの情報交流を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①市民がボランティア活動を通じて、人と出会い、つながり合い、学び合い、豊かな時間が過ごせるようにボランティアセンター事業の推進に努める。
				29					
				30					
				31					
				32					
25	地区社会福祉協議会の活動	社会福祉協議会	ボランティア育成事業数	28	53	回	(H28年度) 6地区社協がそれぞれに事業計画をたて、交流、在宅福祉の促進、ボランティア活動の育成などを目的とした事業展開をしており、多くの地域の方々の参加をいただいている。(各地区で、お祭りやテーマを設けたお楽しみ会のような100名を超えるイベント型の事業や、毎月1回仲間づくりを目的とした30名程のサロン事業などを実施している。)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①高齢者など対象者を限定した事業において、参加人数が増加傾向にあり、既存の実施場所(会場)では、収容が難しい事業ができてきている。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	市民活動推進課 社会福祉協議会 学校教育課 健康増進課 こども総合相談室	<ul style="list-style-type: none"> ●若い人や学生などのボランティア参加の促進が必要。 ●市広報紙に「ボランティア情報コーナー」の独立したものを設けてほしい。 ●関係する全担当課で取り組んでほしい。 ●ボランティア活動情報提供を市民に向けて発信でき、ボランティアとは・・・ボランティアの現状も分かってくると思う。その下段にボランティア相談部署を記入する。 ●「社協だより」「地区社協だより」では、回数が少なすぎる。 	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	3	ボランティアなどの多様な担い手を増やします
主な取り組み	08)	市民活動の支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
26	市民活動推進センター	市民活動推進課	センター来所者	28	5,010	人	(H28年度) 市民との協働により、多様な主体間の交流イベント「市民活動フェスタ」を開催した他、チラシ、HPにより情報発信、相談事業等を行った結果、市民活動推進センターへの来所者は5,010人となり、多くの市民に市民活動の周知ができた。「市民活動フェスタ」の来場者アンケートでは、市民活動やボランティアに興味をもった方が約60%、市民活動やボランティアをしてみたいと回答した方が約80%と、市民活動団体等との交流により意識の変化があった。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①「市民活動フェスタ」について、男女共同参画室の主催イベント「男女きりりフェスタ」と合同開催をすることで、来場者や参加団体の交流を図る。 ②有志の市民を一般公募により募集し、実行委員として会議及び開催の準備等に参加してもらうことで、「市民活動フェスタ」のテーマや実施内容の企画段階から、市民との協働により検討したい。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
26	市民活動推進センター	市民活動推進課	●市民活動やボランティアをしてみたいという80%の人たちをいかに参加させるか、良い方法をもう一度検討する必要。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	3	ボランティアなどの多様な担い手を増やします
主な取り組み	09)	生涯学習機会の拡充

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
27	社会福祉センターの活用	高齢者支援課	広報依頼件数	28	11	件	(H28年度) 地域の活動拠点となる社会福祉センターにて、広報への依頼があった際の窓口となり、平成28年度は11件の依頼を受け、広報に掲載した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①個別付属設備の老朽化(主要設備は改修済) ②引き続き指定管理にて適正に管理運営する。
				29					
				30					
				31					
				32					
28	成人講座、ふれあいまつりなどの学習センター主催事業	生涯学習推進課	広報等による周知	28	20,550	人	(H28年度) 生涯学習を推進するため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の提供、グループ・サークルの主体的学習活動の支援及び学習成果の発表など各種事業を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①特になし
				29					
				30					
				31					
				32					
29	かまがやまなびい大学	生涯学習推進課	受講者数	28	13,832	人	(H28年度) 行政の各部ごとに学部を設置し、学部ごとに市民講座を主催・実施した。また、職員を講師として市民団体などの研修会や講習会に派遣をした。 学部主催講座 6講座 318名 講師派遣事業 245件 13,514名	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①特になし
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
28	成人講座、ふれあいまつりなどの学習センター主催事業	●講座の受講者に市民活動やボランティアへの参加を促す必要。	
29	かまがやまなびい大学		

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	1	地域で支えあう取り組みを推進します
施策	3	ボランティアなどの多様な担い手を増やします
主な取り組み	10)	高齢者の持つ知識や技能を生かす場の提供と活動団体の育成

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)						
30	シルバー人材センターへの支援	高齢者支援課	会員数	28	484	人	(H28年度) シルバー人材センターの広報活動や運営上の手続きに協力し、28年度は会員数が484人(31人増)であった。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①世代間ニーズの相違等による会員数の減少傾向。 ②会員数の増加のため社会参加意識を広めてもらう。						
				29											
				30											
				31											
				32											
31	世代間交流の充実	幼児保育課	おじいちゃん先生採用人数	28	4	人	(H28年度) 少子化、核家族化の進行する中で、保育園において人生経験豊かな中高年齢者を、保育士を補助する職員として雇用し、日常保育の中で中高年齢者と遊び等を通じて触れ合うことにより乳幼児の豊かな情操を育むことに寄与した。各公立保育園において1名合計4名の採用。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①安定した人員の確保が困難。 ②継続実施する。						
				29											
				30											
				31											
				32											
32	高齢者の社会参加と地域における支えあい体制づくり	高齢者支援課	ゲートボール場	28	7	箇所	(H28年度) 28年度は高齢者に身近なスポーツ施設であるゲートボール場のうち1か所を県から購入することで、既存の活動の維持継続を支援した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①契約者・利用者の高齢化と活動人数の減少傾向。 ②スポーツ活動・社会参加への意識を広めてもらう。						
				29											
				30											
				31											
				32											
33	活動希望団体への助言	高齢者支援課	単位老人クラブ	28	30	箇所	(H28年度) 老人クラブや老人憩の家で活動することへの相談受付を通して、必要であれば関係各課や社会福祉協議会に連絡する。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①活動希望団体については、さまざまな部署に関する内容を含む相談が多いこと。 ②地域との協力体制の中から、情報収集を行うこと。						
				29											
				30											
				31											
				32											
						憩の家				28	7	箇所			
										29					
										30					
										31					
										32					
34	老人クラブへの支援(再掲)	高齢者支援課	会員数	28	1,482	人	(H28年度) 老人クラブ加入促進のためパンフレットを市のクラブ連合会と協働して作成、各クラブや窓口にて配布し、会員の増強をはかった。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①会員全体の年齢が高齢化していること。 ②おおむね60歳以上について各年代の社会参加意識を広め、老人クラブで活動することへの関心を持ってもらう。						
				29											
				30											
				31											
				32											

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
31	世代間交流の充実	幼児保育課	●大変よい取り組みだ。中高年齢者は育児経験者であるから、積極的に推進願いたい。
32	高齢者の社会参加と地域における支えあい体制づくり	高齢者支援課	●ゲートボール場だけでなく、今、高齢者に人気のあるスポーツ(グランドゴルフ)を取り入れるべき。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	2	必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します
施策	4	身近な相談支援体制を充実します
主な取り組み	11)	様々な相談窓口の周知

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取り組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
35	相談窓口の周知	すべての所属課	(市民活動推進課) 相談窓口の広報掲載件数	28	12	件	(H28年度) (市民活動推進課) 各種相談窓口について、市広報で周知した。 (高齢者支援課) 昨年度と同様に、広報への掲載や地域での集まり、福祉フェア等で地域包括支援センターの周知を行った。 (健康増進課) 健康相談について、広報、市ホームページへの掲載、チラシの配布等により周知した。 (社会福祉協議会) 市広報紙、社協だより、社協ホームページ等により各相談窓口の啓発に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) (市民活動推進課) ①各種相談窓口について、市広報で周知する。 ②地域のふれあいの中で、困っている人に各種相談窓口を紹介する。 (高齢者支援課) ①広報や地域での集まり、福祉フェア等で引き続き周知を行う。地区ごとに介護保険の相談会等の場を設ける。 ②自身の近所の方など、周囲の様子を気にかけてもらいたい。 (社会福祉協議会) ①市広報紙、社協だより、社協ホームページ等により各相談窓口の啓発に努める。
				29					
				30					
				31					
				32					
36	健康増進事業	健康増進課	健康相談実施数	28	5,913	人	(H28年度) 各事業の他、地域での集まり(老人会、各地区事業等)、イベント等で、歯科衛生士、栄養士、保健師による健康相談を行い、健康づくりや問題解決へとつながった。また、相談を通じて相談ができる人や場があることの周知が図れた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①一人一人の問題に沿った、より適切な相談ができるよう、職員の研修研鑽を継続する。 ②市民や地域の集まりの際に、健康相談を取り入れていただきたい。
				29					
				30					
				31					
				32					
37	心配ごと相談、心の相談事業	社会福祉協議会	相談延件数	28	177	件	(H28年度) 心配ごと相談では、市民の生活全般の悩みごとに対応した。心の相談では、人間関係の改善等について、傾聴を基本に対応した。また、心の相談員を増員し、相談員体制を整備した。週3回、心配ごと相談所を開設し、来所や電話相談を受け、気軽に相談出来る相談所運営に努めた。また、相談内容によっては、専門機関との連携を図るなど解決の糸口に協力することが出来た。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①社会環境の変化により、相談内容が複雑化しているため、一人で悩みを抱え込まないよう、誰もが気軽に利用できる心配ごと相談所として、今後も市広報紙等の掲載を継続し、市民への周知に努める。
				29					
				30					
				31					
				32					
38	高齢者の虐待防止など権利擁護の取り組みの推進	高齢者支援課	講座開催回数	28	19	回	(H28年度) 昨年度と同様に事業を実施。認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての理解を深め、対応方法を学んだ。見守り体制や関係機関と連携し、迅速に対応できる体制の構築に努めた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①認知症サポーター養成講座を引き続き実施する。見守り体制や関係機関と連携し、迅速に対応できる体制の構築に努める。 ②講座を受けていただき、認知症に対する理解を深め、地域での見守りをお願いしたい。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
35	相談窓口の周知	すべての所属課	<ul style="list-style-type: none"> ●多様化する相談に対応するために、各課の情報共有を行っていただき、あらゆる福祉サービスで相談者を支えられる体制づくりを期待する。
36	健康増進事業	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●健康相談について、自治会や老人クラブ事業の中で健康相談の機会を増やす。(福祉ネットワークの当事者意識を拡充するためにも必要)
38	高齢者の虐待防止など権利擁護の取り組みの推進	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者虐待については、暴力＝虐待だけでなく、本人の合意なしに財産や金銭を使ったり、威圧的な態度や無視などの精神的な苦痛など一見ではわからないものも虐待なので、認知症サポーター養成講座以外での啓発機会が必要。 ●単身身寄りのない方の財産管理や施設入所・サービス利用などの際に、成年後見制度の利用を求められることも増えているが、後見利用に対するマイナスイメージも強く、市内のケアマネージャーや民生委員の方々などに啓発して連携していければよい。 ●高齢者の孤立を防ぐための地域ネットワークづくりが、どの程度具体化しているのか、各地域での見守りや対応についての「情報の共有化」が必要。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	2	必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します
施策	4	身近な相談支援体制を充実します
主な取り組み	12)	高齢者の相談支援体制の充実

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
39	総合相談支援業務	高齢者支援課	相談件数	28	6,384	件	(H28年度) 地域包括支援センターにおいて、健康、医療、福祉に関する総合的な相談支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①地域包括支援センターにおいて、健康、医療、福祉に関する総合的な相談や支援を引き続き行う。 ②身近な方でお困りの方がいたら、関係機関へ情報提供をして欲しい。
				29					
				30					
				31					
				32					
40	地域包括支援センター	高齢者支援課	相談件数	28	98	件	(H28年度) 権利擁護、介護予防ケアマネジメント及び地域ケア会議等を行った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①地域包括支援センターにおいて、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントを引き続き行う。 ②日常生活で高齢者の見守りを行い、必要に応じて関係機関へ情報提供をして欲しい。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること	
39	総合相談支援業務	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●改正社会福祉法に定められる「地域における取組例」として、 <ol style="list-style-type: none"> ①空き家を活用した居場所づくり ②現物支給支援 ③転居希望者への支援 ④買い物支援 等社会福祉法人の責務に基づき、社会福祉法人と地域、行政と協働して問題解決に取り組むべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相談に関する要相談情報を、自治会・老人クラブ・地区社協が連携して情報交換して協力する体制を作る。
40	地域包括支援センター	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアセンターと市民との関係を更に密にしていくことが必要。地域包括ケアシステム構築のための具体的な業務について、可能な範囲で情報提供を進めていくとよい。 ●医師会としては、健康・医療などに関する相談や支援の情報を地域包括支援センターと共有し連携してやっていきたい。 ●平成27年度は市内3カ所(初富・西部・南部)の包括支援センター合計で、2,887件(前年度2,305件)の訪問相談(総合相談支援業務)を実施し、利便性・地域性の向上に努めている。 ●各包括支援センターから1名ずつ鎌ヶ谷市介護支援専門員協議会の幹事に就き、研修企画やケアマネジャー同士の連携や質の向上と地域包括支援センターとの連携を進め、支援体制の充実を図っている。 	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	2	必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します
施策	4	身近な相談支援体制を充実します
主な取り組み	13)	子育ての相談支援体制の充実

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取り組み(何をどのくらい行ったのか) 展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)							
41	利用者支援事業の実施	こども支援課	設置箇所数	28	1	箇所	(H28年度) 定期的に公共施設等で出張窓口を開設するとともに、子育て世代が求めている情報提供及びニーズを把握し、助言を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①事業の更なる周知を図る必要がある。子育てサークルの育成を図る必要がある。幼稚園、保育園、民間事業所、学校などを含めたネットワークを構築する必要がある。							
				29												
				30												
				31												
				32												
42	妊産婦に対する訪問・相談	健康増進課	妊産婦に対する訪問・相談実施件数	28	1,410	件	(H28年度) 28年4月より利用者支援事業(母子保健型)を開始。母子健康手帳交付時の保健師・助産師による全数面接を継続し、「かまがや子育てガイドブック」を用いて支援プランを作成。必要時に妊産婦訪問、相談を実施し切れ目ない支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①早期に母子健康手帳の交付につながるよう広報やホームページでの周知徹底。相談したい時に利用出来るよう妊娠、出産、育児に対する相談窓口及び妊産婦訪問の周知が必要。 ②民生委員、主任児童委員、保健推進員等、地域の支援者の方に各サービスや相談窓口を知ってもらい、必要な方をつなげてもらう。							
				29												
				30												
				31												
				32												
43	子どもに対する訪問・相談	健康増進課	子どもに対する訪問・相談実施件数	28	4,759	件	(H28年度) 出生届出時に母子保健サービス登録票の提出を受け、新生児訪問につなげた。未熟児は保健師が必ず訪問した。希望者及び必要時に乳幼児訪問や地区健康相談で相談・指導を実施した。乳幼児健康相談・健康診査は全数通知をすると共に、未受診者へは訪問や面接・電話にて支援を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①母子保健サービス登録票の提出時の面接、乳幼児健康相談・健康診査未受診者への対応を継続し、必要な支援・サービスにつなげる。 ②民生委員、主任児童委員、保健推進員等、地域の支援者の方に各サービスや相談窓口を知ってもらい、必要な方をつなげてもらう。							
				29												
				30												
				31												
				32												
44	子どもの教育に関する相談の実施	学校教育課	心理発達相談員の相談回数	28	351	回	(H28年度) 心理発達相談員が特別支援教育のニーズに応じて、指導室窓口および巡回相談を通して、観察・相談・検査を行っており成果をあげている。近年要因が複雑化したケースも多く、心理発達相談員の相談回数が多くなっている。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①心理発達相談員への相談内容は多様化・複雑化しており、件数が増えている。							
				29												
				30												
				31												
				32												
45	家庭児童相談室	こども総合相談室	相談受付件数	28	9,328	件	(H28年度) 平成28年度9,328件と相談は年々増加している。うち768件については改善等により終結した。環境福祉の相談が全体の半数を占める。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①子どもの健やかな成長に必要な環境を整えるために、支援対象児童を早期に把握し、支援をしていく必要がある。 ②「あなたの気づきが子どもを救う 一子ども虐待を未然に防ぐために」のリーフレットを作成し、民生委員・児童委員等地域の方々々に虐待のサイン・相談先の周知活動を行っていく。							
				29												
				30												
				31												
				32												
46	子育て支援センター	電話・サロン等での相談		28	510	件	(H28年度) 各児童センター・子育て支援センターにおいて、サロンやつどいの広場の中で、相談を受けている。また、職員側からも語り掛けをし、相談につなげている。必要に応じて、関係機関へつなげていく。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①相談に値するかの判断について、職員間によって差がある。格差をなくすためにも情報共有を継続していく必要がある。							
				29												
				30												
				31												
	各児童センター	電話・つどいの広場等での相談			28	676				件	(H28年度) 各児童センター・子育て支援センターにおいて、サロンやつどいの広場の中で、相談を受けている。また、職員側からも語り掛けをし、相談につなげている。必要に応じて、関係機関へつなげていく。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①相談に値するかの判断について、職員間によって差がある。格差をなくすためにも情報共有を継続していく必要がある。			
					29											
					30											
					31											
	幼児保育課・各保育園	電話・園庭開放等での相談			28	364				件				(H28年度) 各児童センター・子育て支援センターにおいて、サロンやつどいの広場の中で、相談を受けている。また、職員側からも語り掛けをし、相談につなげている。必要に応じて、関係機関へつなげていく。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①相談を受ける上で、より専門知識を得ていく必要がある。 ②関係機関との情報共有をより密にする必要がある。
					29											
					30											
					31											
子ども発達センター	相談・支援件数			28	3,999	件	(H28年度) お子さんの発達状況、問題、特徴等を総合的に捉え、安心して子育てが出来るよう、個別相談、電話・窓口相談等を行った。また保育園や幼稚園等の施設及び保護者からの依頼に基づき相談を行った。指定障害児相談支援事業所においては、相談、訪問、モニタリング、計画書作成等を行っている。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①こども発達センターで行っている相談内容についてリーフレットを通し保護者、関係機関に伝え、こども発達センターの更なる周知を図る。							
				29												
				30												
				31												
				28	3,999	件				(H28年度) お子さんの発達状況、問題、特徴等を総合的に捉え、安心して子育てが出来るよう、個別相談、電話・窓口相談等を行った。また保育園や幼稚園等の施設及び保護者からの依頼に基づき相談を行った。指定障害児相談支援事業所においては、相談、訪問、モニタリング、計画書作成等を行っている。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①こども発達センターで行っている相談内容についてリーフレットを通し保護者、関係機関に伝え、こども発達センターの更なる周知を図る。				
				29												
				30												
				31												
				28	3,999	件							(H28年度) お子さんの発達状況、問題、特徴等を総合的に捉え、安心して子育てが出来るよう、個別相談、電話・窓口相談等を行った。また保育園や幼稚園等の施設及び保護者からの依頼に基づき相談を行った。指定障害児相談支援事業所においては、相談、訪問、モニタリング、計画書作成等を行っている。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①こども発達センターで行っている相談内容についてリーフレットを通し保護者、関係機関に伝え、こども発達センターの更なる周知を図る。	
				29												
				30												
				31												
				28	3,999	件	(H28年度) お子さんの発達状況、問題、特徴等を総合的に捉え、安心して子育てが出来るよう、個別相談、電話・窓口相談等を行った。また保育園や幼稚園等の施設及び保護者からの依頼に基づき相談を行った。指定障害児相談支援事業所においては、相談、訪問、モニタリング、計画書作成等を行っている。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①こども発達センターで行っている相談内容についてリーフレットを通し保護者、関係機関に伝え、こども発達センターの更なる周知を図る。							
				29												
				30												
				31												

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	<p>こども支援課 健康増進課 学校教育課 こども総合相談室 子育て支援センター 各児童センター 幼児保育課 各保育園 こども発達センター</p>	<p>●こどもから高齢者、障がい者を包括した支援体制を構築すべき。世代や分野を超えた共生社会を目指す国の方針を視野に入れた共生型サービスの確立が必要。 ●庁舎の窓口もオープンな雰囲気各課が連携して取り組んでいるように見受けられ、『育つまち鎌ヶ谷』というスローガンが実践されつつあり、良い。</p>	
43	子どもに対する訪問・相談	健康増進課	<p>●20年程前に初めての育児で核家族でもあり悩んでどうしようもなかった時に、鎌ヶ谷市の保健師さんが訪ねてくれて妻の話を聞いてくれ、コミュニティセンターの集い等にも参加するようになり、大変助けてもらった経験がある。</p>
44	子どもの教育に関する相談の実施	学校教育課	<p>●未だにかなり深刻な育児放棄等が散見されるので、教育機関におけるよりいっそうの注意が必要。 ●不登校やひきこもり等で、家庭から出られない青少年への対応はどのように行われているか。実態把握や家族が相談しやすい環境づくりを推進していただきたい。 ●軽度発達障がいに対する認識が広がり、特別支援教育に関わる相談活動は今後も増えるだろう。心理発達相談員の人数を検討する必要はないか。</p>
46	児童センター・保育園による相談事業	<p>子育て支援センター 各児童センター 幼児保育課・各保育園</p>	<p>●かまっこ応援団のサイトでは、情報が得やすく工夫されており、センター毎の便りなどの情報も毎月更新されていて、母親世代にマッチした情報発信がなされているのではないかと思う。外に向けて鎌ヶ谷市の姿勢が発信されていて良い。近隣の市と比較しても進んでいると思う。</p>

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	2	必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します
施策	4	身近な相談支援体制を充実します
主な取り組み	14)	障がいのある人の相談体制の充実

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか) 展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
48	障がい者相談支援事業	障がい福祉課	相談件数	28	9,392	件	(H28年度) 障がい者や家族からの相談に応じ必要な情報提供や権利擁護のために必要な援助のために必要な援助を行うため、事業所に相談業務を委託し、障がい者の自立した日常生活、社会生活の向上を図った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①各種相談員の資質向上や地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として基幹相談支援センターを設置し、専門的な助言指導を行う必要がある。
				29					
				30					
				31					
				32					
49	精神保健相談	健康増進課	相談数	28	1,284	人	(H28年度) こころの健康や精神疾患について相談がある人に電話、面接、訪問で対応し、必要な方には医療機関やサービス等必要な支援につなげることが出来た。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①複数の悩みを持つ相談者がスムーズに相談できるように、相談シートを作成し、各課で対応できるよう整備する。 ②平成28年度、自治回覧で全戸配布した、「困った時の相談窓口」を活用し、悩んでいる人に相談先を紹介したり、また、精神保健学習会やゲートキーパー養成講座等を受講し、精神障がい者を地域で支える理解者となつてほしい。
				29					
				30					
				31					
				32					
50	児童発達支援(のびのびルーム)	こども発達センター	利用人数	28	43	人	(H28年度) 個々の園児に対して、個別支援計画を作成し療育を実施している。園児の必要性に応じて、保育士、心理発達相談員、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士が発達相談を実施している。又、保護者に対しては、随時相談を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①(1)医療依存度の高い児への対応可能な体制づくり (2)園児への摂食指導の充実を図る ②ボランティアに協力を依頼する(母子登園時における兄弟等同伴児の保育、行事等への応援)
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	障がい福祉課 健康増進課 こども発達センター	●「困った時の相談窓口」や「鎌ヶ谷市障がい福祉マップ」など相談窓口などの情報がわかりやすいように工夫されている。	●市内で行われている福祉サービスの一覧を最新の状態で各相談事業所に配布して頂けると、相談に来られた方にスムーズに紹介等が行える(障がい、介護サービス共に)。グループホームの情報、移動支援、居宅介護サービス等...
48	障がい者相談支援事業	障がい福祉課	●障がい者や家族からの相談件数は、今後も増加すると思う。それらの相談にあたる相談員の資質向上に向けて有効な研修体系を確立していただきたい。 ●基幹相談支援センター開設の運びとなった昨今、次の課題は鎌ヶ谷市における地域生活支援拠点の整備と考えられる。 現在の予定では、いわゆる「面的整備」となっており、この方式で運営した場合、支援を必要とする人々に対し、現在同様、サービスの存在及びその選択が不明瞭という印象がある。運用面においても各サービス事業者間の連携が強く求められる一方で、地域に散在するサービスは利用者にとって不便であり、真に必要なとされるサービスが一体的にかつ迅速に提供されることが困難と考えられる。 相談支援、短期入所、グループホーム、生活介護等の機能を備え、さらに緊急時のシェルターの役割を備えた拠点は一か所において集中して運用してこそ、その真価を発揮することができるのではないか。また、国が求める本来の機能もそこにあるのではないか。 現在、千葉県でも拠点の実施・運用例が極めて少ないことから、その先駆者として第5期鎌ヶ谷市障がい福祉計画に盛り込み、「障がいのある人の相談体制の充実」をもって鎌ヶ谷市の障がい福祉の質の向上をはかるべきと実感する。
49	精神保健相談	健康増進課	●精神保健学習会やゲートキーパー養成講座など市民向けの学習機会もあり、多くの市民の方が受講されるように継続して欲しい。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	2	必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します
施策	5	生活困窮者の自立支援をすすめます(新規)
主な取り組み	15)	生活困窮者への自立支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか) 展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
51	自立相談支援事業	社会福祉課	相談受付件数	28	73	人	(H28年度) 平成27年4月の生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活困窮者で生活保護に至る前の段階の自立支援を図るため、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、他の専門機関と連携して相談者に寄り添いながら自立に向けた支援を行っている。 平成28年度は73人から相談を受け、そのうち58人分について一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①生活困窮者自立支援制度(自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業、こどもの学習支援事業)の周知を図り、様々な事情で生活に困っている方の相談支援体制を整えていく。 ②長期間の不就労や家族介護のため就職ができない、住居が無くなりそうなど様々な事情で悩んでいる人がいる場合、本人のほか家族や友人、知人からの相談も受け付けているので、その時は社会福祉課内の「生活支援相談窓口」に相談してほしい。
				29					
				30					
				31					
				32					
			プラン作成数	28	58	人			
				29					
				30					
				31					
				32					
52	住居確保給付金の支給	社会福祉課	支給人数	28	2	人	(H28年度) 離職又は自営業の廃止などにより住居を失った人、または失う恐れの高い人に、就職に向けた活動をするを条件に、一定期間家賃相当額を支給し、住居及び就労機会の確保に向けた支援を行った。 平成28年度は相談15件、申請2件で、そのうち2件が支給となった。支給期間中に就職活動を行うよう支援を行ったが、いずれも生活保護受給に移行した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①生活困窮者自立支援制度(自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業、こどもの学習支援事業)の周知を図り、様々な事情で生活に困っている方の相談支援体制を整えていく。 ②生活困窮者自立支援制度のチラシをハローワークに置いたり、民生委員等に配布しているが、困っている人がいれば、社会福祉課内の「生活支援相談窓口」を教えてあげてほしい。
				29					
				30					
				31					
				32					
			支給金額	28	377	千円			
				29					
				30					
				31					
				32					
自立件数	28	0	人						
	29								
	30								
	31								
	32								
53	就労準備支援事業	社会福祉課	講座実施回数	28	8	回	(H28年度) 社会との関わりに不安がある、他人とのコミュニケーションがうまくとれないなど、直ちに一般就労が困難な人に対し、一般就労に必要な知識や基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労の機会の提供を行った。 平成28年度は、11月から3月までの5ヶ月間(1クール)で、講義8回(生活講座4回、社会講座4回)と模擬面接1回を実施し、24人の参加があり、そのうち3名が就労を開始した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①平成29年度は、1クール(生活講座2回、社会講座4回の計6回)の予定で5月～8月と10月～翌年1月において年間2クール実施することとし、より多くの方々が参加できるようにする。また、現場見学を導入し、職場の雰囲気や働く人の様子など実感を掴んでもらい、就労へのイメージや意欲向上を図る。 ②生活困窮者自立支援制度のチラシをハローワークに置いたり、民生委員等に配布しているが、困っている人がいれば、社会福祉課内の「生活支援相談窓口」を教えてあげてほしい。
				29					
				30					
				31					
				32					
			参加人数(実数)	28	24	人			
				29					
				30					
				31					
				32					
就労した人	28	3	人						
	29								
	30								
	31								
	32								
54	学習支援事業	社会福祉課	実施回数	28	37	回	(H28年度) 生活保護受給世帯と生活困窮世帯のこどもを対象に、基礎学力向上のための学習支援と日常生活に関する相談支援を週1のペースで平成28年8月からスタートした。 参加人数22名(中学生21名、小学生1名)のうち世帯類型別では、生活保護世帯16名、準要保護世帯3名、ひとり親世帯3名。学年別では小学6年1名、中学1年7名、中学2年4名、中学3年10名。また、中学3年の参加者10名全員が高校に進学した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①小学生の参加者が少ないため、平成29年度から児童手当の現況届に学習支援事業のパンフレットを同封し、周知を図る。また、進学した高校生が学校を中退した場合、貧困の連鎖が続いてしまう可能性があることから、高校生ボランティアとしての参加や必要に応じて学習に参加できるような居場所づくりが必要。 ②こどもの勉強に関する悩みの相談を受けた場合は、こどもの学習支援事業がある旨を周知してほしい。
				29					
				30					
				31					
				32					
			参加人数(実数)	28	22	人			
				29					
				30					
				31					
				32					
高校進学率	28	100	%						
	29								
	30								
	31								
	32								

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	社会福祉課	<p>●総合福祉保健センターが出来る前は、生活保護担当の方は5名位の体制だったと記憶している。その頃と比べると保護受給者は増大し、職員の数も大分増えている。最近、生活保護の相談等で何度か同席しているが、事務所が手狭で、相談を受ける方も、する方にとっても適切な環境ではなく気の毒に感じる。高齢者の増加と年金支給開始年齢の引き上げなど、今後も生活困窮に関する相談・支援は増大されると思われる。ストレスも多い職場だと思うので、相談を受ける環境整備も必要だと思う。</p> <p>●生活困窮者の家庭の子どもの貧困が問題視されている昨今、温かく栄養価の高い食事を安価に提供できる「子供食堂」やフードバンクとの提携による食料提供などをボランティア活動など含めて展開できたらよい。</p>	
54	学習支援事業	社会福祉課	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	2	必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します
施策	6	地域福祉に関する広範な情報提供をすすめます
主な取り組み	16)	情報発信の強化

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
55	多様な広報媒体の活用	すべての所属課	(安全対策課) 安心eメール登録者数	28	7,117	人	(H28年度) (安全対策課) ①広報毎号(24回)、防犯キャンペーン(12回)、自主防災訓練等(15回)において、登録用QRコードを載せたりチラシを配布した。 ②平成27年度末6871人だった登録者が、28年度末には7,117人と246人増加した。(重複登録者あり、28年度末防災配信4,167人、防犯配信2,950人) (市民活動推進課) 各種相談窓口について、市広報で周知した。(12回) (健康増進課) 健康増進課事業について、広報、市ホームページへの掲載、チラシ等を作成し、窓口配布、自治会回覧、公的機関への掲載依頼等内容に応じた周知を行った。 (社会福祉協議会) 社協だより、ホームページ、地区社会福祉協議会広報紙及び福祉相談窓口等で、情報の発信に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) (市民活動推進課) ①各種相談窓口について、市広報で周知する。 ②地域のふれあいの中で、困っている人に各種相談窓口を紹介する。 (社会福祉協議会) ①社協だより、ホームページ、地区社会福祉協議会広報紙及び福祉相談窓口等で、情報の発信に努める。
				29					
				30					
				31					
				32					
56	広報紙の充実	秘書広報課広報広聴室	広報発行回数	28	24	回	(H28年度) 「広報かまがや」を年24回(毎月1日号・15日号)発行するとともに、視覚障がい者用の声の広報(広報紙を朗読したCD)を作成・配布した。また、高齢者や色覚障がい者、視力の弱い人にとっての見やすさを確保するため、平成28年12月に「広報かまがやカラーユニバーサルデザイン(CUD)適用マニュアル」を作成し、誰にでも分かりやすい色使いに配慮した、読みやすい紙面とした。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①年齢や障がいの有無等に関わらず、より多くの読者に市政等について周知するために、「広報かまがやカラーユニバーサルデザイン(CUD)適用マニュアル」に沿って広報紙を発行する。 ②声の広報を、引き続き朗読ボランティアと協力して作成し、視覚障がい者へ配布する。
				29					
				30					
				31					
				32					
57	市ホームページのリニューアル事業	秘書広報課広報広聴室	市ホームページ更新件数	28	1,357	件	(H28年度) 市ホームページリニューアル事業を後期基本計画第4次実施計画に計上し、平成30年度実施とした。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①市ホームページのウェブアクセシビリティ向上のため、市ホームページリニューアル事業のCMS(コンテンツマネジメントシステム)事業者を選定し、移行作業を行う。 ②聴覚障がい者の団体に、インターネット環境・利用状況等について伺う。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
55	多様な広報媒体の活用	すべての所属課	●高齢者の相談支援の際に参考にしてしているNPO『かまがや地域情報の窓口』のサイトはリアルタイムの情報で公民館のイベントやボランティアの情報等もあり、とても優れている。
56	広報紙の充実	秘書広報課広報広聴室	●「広報かまがや」の読みやすさは増している。他のたよりや広報紙も興味をそえられるような紙面の工夫をお願いしたい。
57	市ホームページのリニューアル事業	秘書広報課広報広聴室	●鎌ヶ谷市のホームページのトップページからも『健康ふくしネットかまがや』として閲覧できるが、左側よりも、右側のコンテンツメニューの方がカラフルで目立つので、右側に並べてはどうか？

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	2	必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します
施策	6	地域福祉に関する広範な情報提供をすすめます
主な取り組み	17)	地域活動や学習活動を通じた直接的な情報提供手段の模索

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取り組み(何をどのくらい行ったのか) 展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
58	高齢者生涯学習	高齢者支援課	生涯大学への推薦	28	1	人	(H28年度) 高齢者支援課にて生涯大学のパンフレットと申込用紙の配布、同大学への推薦を行っており、昨年は1名の推薦を得た。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①例年推薦する人数が増加しないこと。 ②社会参加意識を広めてもらう。
				29					
				30					
				31					
				32					
59	成人講座、ふれあいまつりなどの学習センター主催事業	生涯学習推進課	広報等による周知	28	20,550	人	(H28年度) 生涯学習を推進するため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の提供、グループ・サークルの主体的学習活動の支援及び学習成果の発表など各種事業を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①特になし
				29					
				30					
				31					
				32					
60	かまがやまなびい大学	生涯学習推進課	受講者数	28	13,832	人	(H28年度) 行政の各部ごとに学部を設置し、学部ごとに市民講座を主催・実施した。また、職員を講師として市民団体などの研修会や講習会に派遣をした。 学部主催講座 6講座 318名 講師派遣事業 245件 13,514名	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①特になし
				29					
				30					
				31					
				32					
61	社会参加促進事業	身体障がい者福祉センター	受講者数	28	1,644	人	(H28年度) 身体障がい者の社会参加や機能維持を図るため、各種講座を合計191回開催した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①講座受講者が年々固定化しており、利用者の拡大が課題となっていたが、29年度の講座から利用者年齢の見直しや新たな講座を取り入れるなど講座の充実を図る。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	高齢者支援課 生涯学習推進課 身体障害者福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習は素晴らしい取り組みである。更なる取り組みとして、時間の余裕と体力のある方たちに集える場所(喫茶など)や生産活動の場の提供があればいい。 ●気軽にボランティアに参加できるよう、ひと目でわかるボランティア活動の一覧表などがあればいい。 ●生き生きと暮らせる市民のために、生涯学習講座は必要。実態把握をし、各ライフステージ毎に興味をもてる講座内容を年々更新していただきたい。 	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしくみを推進します
施策	7	避難行動要支援者への支援をすすめます 《重点施策》
主な取り組み	18)	災害時に支援が必要な人の把握と安全確保策の推進

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
62	災害時要援護者避難支援制度周知事業	社会福祉課	周知回数	28	1	回	(H28年度) 第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画の10施策の一つとして位置づけるとともに、公共施設や関係団体、自治会(全戸配布)に地域福祉計画概要版を配付した(31,267部)。また、東武鎌ヶ谷自治会福祉関係者懇談会において制度の説明を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①災害対策基本法の改正に伴い、鎌ヶ谷市地域防災計画を見直し、避難行動要支援者の範囲を定めることとなった(改正は平成29年9月頃)。そのうえで現行の「鎌ヶ谷市災害時要援護者避難支援計画」を「鎌ヶ谷市避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)」として改正を行う。 ②日ごろの見守り、声かけを地域で実施し、避難の手助けをする地避難援者を増やすようお願いしたい。
				29					
				30					
				31					
				32					
			説明会開催数	28	1	回			
				29					
				30					
				31					
				32					
63	災害時要援護者個別計画作成事業	社会福祉課	個別計画作成人数	28	574	人	(H28年度) 現行の「災害時要援護者避難支援計画」に沿って、個別計画を作成し更新している。また、民生委員が独自に作成している「災害要援護者リスト」との擦りあわせを行った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①鎌ヶ谷市地域防災計画の改定に伴い、要支援者の範囲が狭くなること、要支援者名簿を地域に提供するにあたり、災害時に避難を手助けする地域支援者の確保や安否確認など、具体的な避難支援体制を構築する必要がある。 ②日ごろの見守り、声かけを地域で実施し、避難の手助けをする避難支援者を増やすようお願いしたい。
				29					
				30					
				31					
				32					
64	災害時要援護者リスト(避難行動要支援者名簿)整備事業	社会福祉課	要配慮者数	28	29,215	人	(H28年度) 平成25年8月の災害対策基本法の改正において、避難に支援が必要となる名簿(避難行動要支援者名簿)の作成を市町村に義務付けるとともに、平常時から自主防災組織等や民生委員等の避難支援関係者に情報提供することが定められたことにより、現在名簿を整備している。 平成29年6月15日現在、要配慮者は29,215人、要支援者は2,807人となっている。 平成28年度は、鎌ヶ谷市地域防災計画において名簿に登載される対象の範囲を位置づける改正を行い、パブリックコメントを実施した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①鎌ヶ谷市地域防災計画が改正された後、対象となる要支援者に対し、自治会や自主防災組織、地区社会福祉協議会、民生委員など市地域防災計画に定める避難支援等関係者に名簿を提供することに同意するか意思の確認を行う必要がある。 ②日ごろの見守り、声かけを地域で実施し、避難の手助けをする避難支援者を増やすようお願いしたい。
				29					
				30					
				31					
				32					
			要支援者数	28	2,807	人			
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ●災害対策基本法の改正に基づく避難範囲の見直しについては、要支援者名簿の取扱いに十分考えてほしい。 ●災害発生時の情報伝達の方法など、要支援者やそのご家族の方々のご意見を踏まえ、円滑に避難ができるよう配慮していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の見守りについては、各委員に語り、避難の手助けを周知し、活動していく。
63	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ●「避難支援者の確保」について 多くの世代、広く地域住民から支援者を確保するための工夫がもっと必要ではないか。現状として、避難支援者は一部の人たちに偏っていると思う。 ●災害時に支援を必要とする人の避難支援について、独自の避難用マップ等を作成し周知することで、具体的にどこで誰の支援を受けられるか明確にしておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成23年頃かと思うが、社会福祉課が発行した個別計画を各戸に配布し記入し、各戸の冷蔵庫に保管するよう指導した。現在でも有効に使われている。 ●万一の時、救急隊員なり警察、近所の者が救助に入ったとき、本人の年齢、緊急連絡先、避難支援者を早急に確認することができている。
64	社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ●実際には避難の際に支援が必要であるが、範囲から外れている人に対する対応は？自己申請等の対応も必要(子供がいるために避難をためらうと考えられる人、外国人、子供の多い家族等)。 ●以前、広報で避難支援者の募集を見たことがある気がするが、避難支援者を集めるための工夫が必要ではないか。各世代(各状況下の人たち)が必要とする支援を明確に示すことで、まず住民の注意をひき、それから支援側へまわるよう導く工夫など。 	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしくみを推進します
施策	8	安全なまちづくり・防災防犯活動をすすめます
主な取り組み	19)	安全な移動手段の確保

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)					
65	道路・歩道等の整備	道路河川整備課	整備延長	28	1,965	m	(H28年度) 平成28年度は1,965mの道路の整備を行った。内140mの歩道を設置した。これにより歩行者空間の確保や道路環境が改善され振動騒音などの軽減ができた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①課題としては事業費を確保することであり、交付金を活用して行く上で国からの内示率が低く、思うように事業を進めることができないことや、用地の取得など多額の費用を要するものは多くの年月がかかるため成果を出すまでに時間がかかる。少ない費用の中で大きな成果が出るように事業に取り組んでいく。					
				29										
				30										
				31										
				32										
66	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課都市政策室	利用者数	28	90,089	人	(H28年度) バス会社3社による市内4ルート月曜日から金曜日の運行を平成28年11月1日からバス会社3社による市内5ルートに変更、週7日に増便運行し、運行経費と利用客数に応じ限度額を定め補助を支出。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①市内5ルート週7日運行の利用状況や要望等を把握し、今後の改革・改善が可能か検討。					
				29										
				30										
				31										
				32										
67	安全な歩行空間の確保	道路河川管理課	看板撤去	28	64	枚	(H28年度) 市内の主要幹線道路の違法看板撤去作業を2回行い、64枚撤去した。駅周辺の放置自転車等の撤去作業を年51回行い、370台撤去した。また、市内小学校第5・6学年及び市内中学校全学年に、自転車の放置禁止を呼び掛けるパンフレットを配布した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①違法看板の撤去枚数及び自転車の撤去台数はここ数年減少傾向にあるが、引き続き上記の対策を実施していく。					
				29										
				30										
				31										
				32										
					自転車撤去	28				370	台			
						29								
						30								
						31								
						32								
68	通学路安全対策推進行動計画に基づく各種事業	学校教育課	児童生徒の事故件数	28	23	人	(H28年度) 第三次通学路安全対策推進行動計画に基づき、平成28年度の安全施設等の設置工事については、整備予定の26箇所全て完了した。主な工事は車のドライバーに対する注意喚起となるが、その中でも、安全施設の設置により、交差点の形状を改良した箇所については、進入する車が減速傾向になったことで、一定の効果は得られた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①学校やPTAからは、歩道の拡幅や信号機の設置といった中長期的な要望が多く、道路の改良については十分に答えられていない。そのため、まずは対策可能な安全施設の設置を検討していく。 ②安全対策が必要と思われる通学路があれば、地域からも、学校を通じて要望していただきたい。					
				29										
				30										
				31										
				32										

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
65	道路・歩道等の整備	道路河川整備課	<ul style="list-style-type: none"> ●歩道が整備されていない道路があるため、安心安全なまちづくりの一環として道路整備を進めていただきたい。 ●危険度の高い場所等を市全体で把握し、優先順位を定め実行していただきたい。 ●車いす障がい者が移動するための道路(歩道)の損傷状況の把握のための方策と、道路河川管理課との連携が必要ではないか。
67	安全な歩行空間の確保	道路河川管理課	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校5・6年未満の年齢の子供に対しても、簡単な形であっても自転車の指導が必要ではないか。 ●撤去された自転車はどうなるのか、どこへもっていくのか、など全体の流れを周知することで市民の意識を高めることにつながるのではないか。
68	通学路安全対策推進行動計画に基づく各種事業	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●第四中学校通学路において事件が起こっているが、迂回路がないので道幅を広くするか、防犯灯の明るさを確保すること、防犯カメラの設置を急いでいただきたい。 ●受所自治会は、小学校3校・中学校3校の通学区域にあり広範囲である。防犯パトロールを組織し、大小パトロール隊で見守りを行っている。 ●青色パトロール車による見守りもしているし、今後も続けていく。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしきみを推進します
施策	8	安全なまちづくり・防災防犯活動をすすめます
主な取り組み	20)	防災対策の充実強化と防災意識の高揚

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
69	地域防災計画	安全対策課	-	28	-	-	(H28年度) 庁内各課、防災会議委員、関係機関への意見照会を行い、提出された意見を加味した地域防災計画の改訂素案を作成した。 ※実績値については、計画の見直し事業であり、指標を表すことができないため未記入といたします。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①災害対策基本法の改正に伴い、平成28～29年度の2カ年で改訂作業を実施している。平成29年5月からパブリックコメントを実施し、市民から意見を聴取したのち、危機管理推進会議部会、危機管理推進会議を開催する。その後、鎌ヶ谷市防災会議を開催し、防災会議委員から承認を得たのち改訂とする。
				29					
				30					
				31					
				32					
70	総合防災訓練(防災ふれあいひろば)	安全対策課	参加人数	28	1,052	人	(H28年度) 市民、防災関係機関、災害協定事業者、ボランティア団体等との相互協力の下、市民体験型訓練を市民体育館(福太郎アリーナ)で実施し、市民及び防災関係者を含め、1,052人が参加した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①平成29年度は、本庁舎の免震工事が終了することから、市役所を訓練会場に戻すこととした。昨年度と同様に市民体験型訓練を実施する。 ②市民一人ひとりの防災意識・防災行動力の向上を図り、市民の生命、財産を災害から守り、安全で安心な生活を確保することを目的としているため、多くの市民に積極的に訓練に参加していただきたい。
				29					
				30					
				31					
				32					

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
69	地域防災計画	安全対策課	<p>●災害が起きれば、多くの負傷者が発生する。千葉県には地域災害拠点病院がたくさんあるので、地域防災計画において、この地域災害拠点病院との連携について触れてあった方が良く感じる。今後自治会連合協議会の研修で行く長野赤十字病院は地域災害拠点病院を取りまとめる基幹災害医療センターに位置付けられている。先の御嶽山噴火の際に非常に活躍したとのこと。また、平成26年11月22日に白馬村で発生した地震(長野県神城断層地震)の際にも多くの家が損壊したにもかかわらず、死者は出なかった。鎌ヶ谷市には地域災害拠点病院がないので、他からの応援に頼る以上連携について考える必要がある。</p>
70	総合防災訓練(防災ふれあいひろば)	安全対策課	<p>●なんらかの形で、市民が所属する各コミュニティ毎の訓練を実施することで訓練参加率を高めるなどの工夫も必要。</p> <p>●防災訓練の定期実行計画を立てて実施する。自連協安全委員会を中心に市全体(各自治会)での訓練を重点にボトムアップを図るよう、働きかけていく。 ●各々の避難所があると思うが、我々のところは「北部小学校」が避難所となっている。近所の者同士が助け合って救助すると思う。これは緊急を要することなので、春夏秋冬、年3～4回位は訓練の必要がある。計画を立てているが、なかなか実行まで時間がかかる。 ●市主催の総合防災訓練に参加するよう、月一回の定例会議(栗野自治会)等で話しているが、参加するのはせいぜい役員2～3人。開催場所のこともあるが、市民体育館は他の自治会から比較すると近い場所である。大きい災害が起きていない安心感からか、これからも回を重ねて協議したい。</p>

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしゅみを推進します
施策	8	安全なまちづくり・防災防犯活動をすすめます
主な取り組み	21)	地域による防犯体制の構築と防犯意識の高揚

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
71	パトロール体制の構築	安全対策課	自主防犯パトロール隊員数	28 29 30 31 32	1,387	人	(H28年度) ①防犯だよりで自主防犯パトロール隊員を募集した。 ②平成29年3月発行した防犯だよりに掲載したばかりなので、成果が出るのはこれからである。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①自主防犯パトロール隊員の高齢化が進み、隊員が減少しているため、引き続きさまざまな媒体を使用して隊員を募集する。 ②積極的に地域の自主防犯パトロール隊に参加してもらいたい。
72	夜間防犯パトロール事業	安全対策課	通報件数	28 29 30 31 32	4	件	(H28年度) ①平成28年度は261日パトロールを実施した。 ②警察への通報4件、現場での声掛け11件、重点地域の指示11回行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①市内の刑法犯認知件数は減少傾向にあるが、さらに安全で安心なまちづくりを目指して夜間防犯パトロールを継続して行っていく。 ②自分でできる犯罪防止対策をとってもらうとともに、危険地域や不審者の情報を提供してもらいたい。
73	防犯サテライト事業	安全対策課	実施回数	28 29 30 31 32	13	回	(H28年度) ①防犯協会の会議等で、キャンペーンの開催について積極的にアピールした。 ②平成28年度は、前年度比で10回増加した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①高齢者の電話de詐欺被害が増加しているため、防犯サテライト等で手口や注意事項などを啓発していく。 ②防犯サテライトなどへの参加、近所の高齢者への注意喚起や声掛けをしてもらいたい。
74	児童生徒安全パトロール事業	学校教育課	不審者情報件数	28 29 30 31 32	61	件	(H28年度) 鎌ヶ谷市を4つのエリアに分け、下校時の見守りを中心にパトロールを行った。また、不審者情報等が入れば、巡回中のパトロール員へ直接情報提供し、現場周辺のパトロールをすぐに実施することができた。さらに、平成28年11月からは、パトロール員を2班4名増員し、見守りの強化を図った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①鎌ヶ谷市の中でも、第三中学校区、第四中学校区、第五中学校区といった市郊外の見守りをさらに強化していく必要がある。 ②パトロール員だけでなく、地域全体で子ども達を見守る意識を高めていただきたい。
75	青色防犯パトロールカーの活用	学校教育課	不審者情報件数	28 29 30 31 32	61	件	(H28年度) 各中学校区に青色パトロールカーを配置し、教職員を中心に、パトロール活動を行った。また、教育委員会でも青色パトロールカーを使い、学校への訪問等の際には、パトロールも兼ねて実施した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①教職員の多忙化が問題視される中で、登下校時のパトロール実施は負担も大きくなっていくが、市教委も含め、児童生徒の見守りを積極的に行っていかなければならない。 ②教職員だけではなく、地域全体で子ども達を見守る意識を高めていただきたい。
76	安全ネットワーク会議	学校教育課	不審者情報件数	28 29 30 31 32	61	件	(H28年度) 全中学校区が学校主催で開催し、通学路上の安全対策や防犯対策が必要な箇所、地域のボランティアの方の活動状況などを情報共有することで、各中学校区の状況を把握することができた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①ネットワーク会議での情報共有だけではなく、普段から各団体等との連携も必要となってくる。 ②自治会等を通して、地域全体で子ども達を見守る意識を高めていただきたい。

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	安全対策課 学校教育課	●防犯カメラの設置及び予算確保に向けて最大限の努力をお願いしたい。	●地域自主防犯パトロール隊(受所自治会 約40名隊員)の増員計画を立てて2年を目途に実行できるようにする。また、広報活動に毎回記事を掲載し見守る意識を高めていく。 ●自治会組織から離れた自主防犯体制で週2~3回、月8~10回程度、特にこどもたちの登下校時12~14人体制、1班4人3組で近隣、北部小学校、第三中学校、一般住宅廻りをパトロールしている。 ●北部地区(北部公民館集合で、各地域へ)でもパトロールしている。夏季には、コンビニエンス付近にも足を延ばしている。
71	パトロール体制の構築	安全対策課 ●人材の募集はどのように行っているのか?小学校などに行けば、常時募集している場面を目にするのかもしれないが、子供が幼稚園に所属している現在はその募集を目にしたことはない。 ●小学校での安全パトロールではあるが、幼稚園児の親としても安全パトロールは大変気になる問題だ。	
74	児童生徒安全パトロール事業	学校教育課 ●毎朝子供を幼稚園バスまで送っていく際に、安全パトロールをしてくれている年配の男性に会う。小さい子供を持つ親としては大変ありがたく感じる。	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしゅみを推進します
施策	8	安全なまちづくり・防災防犯活動をすすめます
主な取り組み	22)	災害発生時の迅速な情報伝達、かまがや安心eメールの登録促進

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
77	かまがや安心eメール	安全対策課	登録者	28	7,117	人	(H28年度) ①広報毎号(24回)、防犯キャンペーン(12回)、自主防災訓練等(15回)において、登録用QRコードを載せたりチラシを配布した。 ②平成27年度末6,871人だった登録者が、28年度末には7,117人と246人増加した。(重複登録者あり、28年度末防災配信4,167人、防犯配信2,950人)	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①さらに登録者を増やす。 ②安心eメールを登録するよう地域でも広報してもらう。
		青少年センター	所報等による周知	28	30	件	(H28年度) ①不審者等・危険箇所等・その他子供の安全に関する情報の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ②かまがや安心eメールの積極的な活用をするため登録及び知人等への情報提供をお願いしたい。

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること	
77	かまがや安心eメール	安全対策課	<ul style="list-style-type: none"> ●安心eメールを登録推進するため、防犯パトロール隊に登録を進めてはどうか？ ●住民が高齢化しているので、eメールなるものを知らない。せいぜい緊急通報、テレビ放送を利用するくらいだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会の広報ニュースを活用してみる。(自連協、自治会等)

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしきみを推進します
施策	9	孤立化・虐待防止と権利擁護をすすめます
主な取り組み	23)	児童虐待の防止

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
78	児童虐待防止対策等地域協議会による関係機関の連携・情報交換	こども総合相談室	登録者実務者会議 個別支援者会議数	28 29 30 31 32	74	回	(H28年度) 実務者会議で要保護児童の進行管理を6回実施し、関係機関との連携がより必要なケースについては、個別支援会議を68回実施。今後の支援について協議した。具体的な役割分担などを確認し、支援の必要性を認識した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①地域住民に対して、児童虐待の正しい知識の普及活動が必要であり、通告者の義務についても伝えていく必要がある。 ②虐待のサインを見つけた際の相談先、相談方法を多くの市民に理解してほしいため、リーフレットを作成したため周知していきたい。
79	養育支援訪問事業	こども総合相談室	訪問延件数	28 29 30 31 32	227	件	(H28年度) 養育支援が特に必要な家庭に保健師・保育士が訪問をして、養育に関する相談指導を行うことを実施した。孤立している家庭を把握し、育児負担の軽減を行い、虐待予防につながった。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①地域に孤立しているケースの把握方法や関わり期間での変化をまとめ、取り組みについての検討が必要である。 ②養育に不安を抱える保護者や家庭のサインを見つけた際には、連絡をしてほしい。

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	こども総合相談室	●民生委員・児童委員の方々からの情報収集と各学校のPTAの皆様から情報が得られるような情報交換の場をつくり、進めてはどうか？	●近所にこどもが少なくなっている。栗野地区では、親が共働きで子供会の役員の成り手がいないので、子ども会が4年前に解散してしまった。 ●現在は、自治会が組織を作り、「あさかつまつり」を催している。栗野地区だけでなく、北部小学校の「あさかつ子」、栗野、佐津間、軽井沢の子どもたち全体を北部小学校にも働きかけて、1年目は100人、2年目は150人、3年目は250人、4年目(29年6月10日(土)午後1時～4時)350人(親も含めて)の参加があった。 ●虐待防止について、特々の対策を考えているわけではない。なかなかそこまで家庭内に入ってゆけない。北部小学校は徐々に児童が減少し、5月1日現在331名です。市内9小学校のうち、7～8番目に少ない。
78	児童虐待防止対策等地域協議会による関係機関の連携・情報交換	こども総合相談室	●児童虐待の発生予防、早期発見、対応の観点から地域住民の協力は大切であり、リーフレットの活用やポスターの配布(自治会や関係機関等)、勉強会の実施などに力を入れてもらいたい。 ●虐待に関するリーフレットは今までと同様に市の施設においてあるのか。問題が「虐待」である場合などは特に、なるべく多くの人の目につくように市の施設以外の場所、例えば駅やコンビニなどに置くなどの工夫があってもいい。
79	養育支援訪問事業	こども総合相談室	●該当場面に遭遇しても、しつけと虐待の区別がつきにくい人も多いと思う。その状況でも連絡をした方がよいのであれば、その旨を明記することで、より多くの情報が集まるのではないか(その必要があれば)。

第3期鎌谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしくみを推進します
施策	9	孤立化・虐待防止と権利擁護をすすめます
主な取り組み	24)	乳幼児家庭の見守り活動

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
80	乳児家庭全戸訪問事業	健康増進課	乳児全戸訪問率	28 29 30 31 32	91	%	(H28年度) 新生児訪問、保健推進員訪問、保健師訪問等にて乳児のいる家庭に全戸訪問を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①事業の目的や重要性を理解し、必要な支援につなげられるよう保健推進員やそれを支援する保健師の資質の向上を図る。訪問しても連絡が取れないケースについての支援方法を検討する。 ②必要な支援が受けられるよう、母子健康手帳発行時や出生票提出時等で紹介のあった、乳児家庭全戸訪問事業を利用する。
81	妊娠、出産及び育児期における養育支援家庭の早期把握	健康増進課	関係機関につなげた件数	28 29 30 31 32	107	件	(H28年度) 平成28年4月1日より、利用者支援事業(母子保健型)を開始し、保健師等による全数面接を行うことで、早期に支援が必要な家庭を把握すると共に、かまがや子育てガイドブックを利用し、サービスの紹介を行い必要な支援につなげた。また切れ目ない支援となるよう、必要な関係機関と連携し、支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①継続支援が必要な場合については、課内で情報共有をするとともに、関係機関と連携したケースについては、連絡会等を通しその後の支援の方向性を確認し支援を行う。 ②地域のボランティアや相談者へ各サービスや相談窓口を知ってもらい、必要な時に活用すると共に、他の市民にも利用出来るよう伝えていく。

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会にデータの開示は可能か？ ●民生委員・児童委員の活動支援を受けていると思われるが、地域の福祉委員・地区ふれあい員・談話室の委員との情報共有ができるように周知会議等を開いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会役員も65～75才なので、乳幼児の話題になることもない。 ●栗野コミュニティセンターの運営委員長を仰せつかっているため、月2～3回は顔を出す。児童センター兼務ということで、大変賑わっている様子を見るが、外見だけではわからない。
81	妊娠、出産及び育児期における養育支援家庭の早期把握	健康増進課	●関係機関、各市(出生届の関係、里帰り出産など。)との連携をデータでできるようにしてほしい。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしきみを推進します
施策	9	孤立化・虐待防止と権利擁護をすすめます
主な取り組み	25)	成年後見制度の周知と利用促進

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
82	成年後見制度利用支援事業	障がい福祉課	申し立て件数	28	1	件	(H28年度) 身寄りがいない等で成年後見の申立てを行えない方について、市長が成年後見の申立てを行った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①身寄りがいない等で成年後見の申立てを行えない方について、市長が成年後見の申立てを引き続き行う。 ②身近に支援が必要な方がいた場合関係機関に連絡等を行ってほしい。
				29					
				30					
				31					
				32					
		高齢者支援課	申し立て件数	28	5	件	(H28年度) 身寄りがいない等で成年後見の申立てを行えない方について、市長が成年後見の申立てを行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①身寄りがいない等で成年後見の申立てを行えない方について、市長が成年後見の申立てを引き続き行う。 ②地域における相互支援活動として、市民という立場を活かして支援が必要な方が身近にいた場合、関係機関への連絡等を行って欲しい。
				29					
				30					
				31					
				32					
		社会福祉協議会	相談会の開催	28	2	回	(H28年度) 司法書士に依頼して相談会を2回行った。相談件数は4件の相談があった。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①司法書士に依頼して相談会を開催する。
				29					
30									
31									
32									
相談件数	28		4	件					
	29								
	30								
	31								
	32								
83	成年後見制度の周知と活用	障がい福祉課	講演会の開催	28	1	回	(H28年度) 社会福祉協議会と協力し、講演会「落語で知る成年後見制度」を行い制度の周知に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①引き続き周知を行っていく。 ②研修会・講演会への積極的な参加。
				29					
				30					
				31					
				32					
		参加者数	28	122	人				
			29						
			30						
			31						
			32						
		高齢者支援課	研修会や講習会による周知	28	2	回	(H28年度) 広報への掲載や研修会等での周知を行った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①広報への掲載や研修会等で引き続き周知を行う。 ②研修会等に積極的に参加し、成年後見制度についての理解を深めて欲しい。
				29					
30									
31									
32									
社会福祉協議会	講演会の開催	28	1	回	(H28年度) 成年後見制度の周知として、落語家を招いて「落語で知る成年後見制度」題目に行い、122名の参加者があり制度の周知に努めた。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①6コミュニティエリアで成年後見制度の啓発事業が終了したので、平成29年度よりパンフレット配布等で啓発に努め、個別相談会の啓発に努めていく。		
		29							
		30							
		31							
		32							
	参加者数	28	122	件					
		29							
		30							
		31							
		32							

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること	
82	成年後見制度利用支援事業	障がい福祉課 高齢者支援課 社会福祉協議会		●成年後見制度利用支援事業は大変重要な取り組みだ。民生委員・児童委員の皆さんの協力を得て地域でも相互に支援活動ができるよう、関係者との連絡会議を開いて共通の認識を持つことで、関係機関への連絡や研修会、講演会を通して周知を図っていく。
83	成年後見制度の周知と活用	障がい福祉課 高齢者支援課 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●成年後見制度の周知についても、周知活動を数多く計画、実行できるよう考えていただきたい。 ●平成28年度に社会福祉協議会が開催した、落語家を招いて「落語で知る成年後見制度」という講演会に参加した。後見制度とか遺言の書き方など差し迫った問題だが、積極的に取り組むには講演会に出席するとかでないとなかなか個人的に相談するにはなかなか抵抗がある。 ●昨年の講演会のような催しを設けてほしい。 ●「成年後見制度の周知・活用について」現在行われている講演会は誰を対象にしたものなのか？現在の該当関係者だけか？今後、ために知識を身につけたいと思うが、託児がつかないなど対象から外れているように思い、以前参加を断念した。 ●広い世代を対象にすることで地域の問題に対する意識を変えるきっかけにもなると思う。そのためにもすべての市民・世代が対象なのであれば、その旨の明記・参加のための工夫（保育付きなど）をお願いしたい。 	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしくみを推進します
施策	9	孤立化・虐待防止と権利擁護をすすめます
主な取り組み	26)	市民や関係者等に対する啓発と市民後見人の育成

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
84	市民後見人の育成	障がい福祉課	-	28	-	-	(H28年度) 市民後見人の育成については実施していない。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①今後、実施していくべきかを含めて検討が必要。
				29				<input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
				32					
		高齢者支援課	参加人数	28	5	人	(H28年度) 市民後見人養成研修を開催。年1回開催し、5人が修了した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①年1回開催しているが、参加者が少ない。後見制度と同様に周知をしていく。 ②成年後見制度への理解を深めるために、多くの方に研修会へ参加をしていただきたい。
				29				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
社会福祉協議会	-	-	28	-	-	(H28年度) 市民後見人の育成については実施していない。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①今後、実施していくべきかを含めて検討が必要。	
			29				<input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある		
			30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い		
			31				<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である		
			32						
85	家族に対する支援	高齢者支援課	開催回数	28	22	回	(H28年度) 認知症相談員による相談事業や介護者のつどい、家族交流会を実施した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①昨年度と同様に事業を実施。参加者を増やすために、広報や周知方法を見直す。 ②事業に積極的に参加し、参加者との情報交換や意見交換を行なって欲しい。
				29				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
				32					
		社会福祉協議会	開催回数	28	12	回	(H28年度) ①在宅介護者のつどい事業として、在宅で要介護状態の方を介護している家族に対し、リフレッシュ事業や介護情報の交換等を毎月実施した。 ②参加者には互いの境遇を理解し合い、安心できる場所となっている。また、一部の地域(西部地区社協実施)では、在宅介護者のつどいが定着し、地域の見守り活動の一助となっている。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる	(H29年度) ①在宅介護者のつどいにおいて、介護中で参加しづらい方へのサポートが課題。介護者の家族が、地域で孤立しないために、参加しやすい環境づくりや相談体制の充実を検討する。
				29				<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				30				<input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い	
				31				<input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	
32									

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
84	市民後見人の育成	障がい福祉課 高齢者支援課 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人制度は、大変難しい問題があると考えられますので、時間をかけて検討すべき。 ●特殊技能的な分野に思えて積極的に参加しにくいように思える。どのように啓発してよいか具体的にわからない。参加しやすい環境づくり、一寸難しいとしか言いようがない。 ●研修会に託児をつけてほしい。
85	家族に対する支援	高齢者支援課 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の福祉委員・民生委員・地区ふれあい員の人たちも参加して、在宅介護者を理解し情報を交換する場を増やす。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	3	安全で安心して暮らせるしきみを推進します
施策	9	孤立化・虐待防止と権利擁護をすすめます
主な取り組み	27)	日常生活自立支援事業の充実と利用促進

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
86	日常生活自立支援事業	社会福祉協議会	相談受付人数	28	24	人	(H28年度) 金銭管理に不安があり、成年後見制度を補完するサービスとして、利用者の意思決定に基づき、利用援助等を行った。現在利用契約者は、高齢者や精神障がいのある方で、生活困窮者の利用者が全体の8割となった。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①事業の利用周知のため、広報啓発に努める。また、サービスの担い手となる生活支援員の増員を検討。今後、生活困窮世帯等の契約利用者の増加が予想されるため、福祉関係機関・福祉支援者との連携が更に望まれる。
				29					
				30					
				31					
				32					
			利用契約件数	28	10	人			
				29					
				30					
				31					
				32					
			生活支援員	28	8	人			
				29					
30									
31									
32									

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
86	日常生活自立支援事業	社会福祉協議会 ●日常生活自立支援事業の利用周知のため、広報啓発を引き続き実施していくことをお願いしたい。	

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	4	地域福祉を支えるネットワークを推進します
施策	10	地域包括ケアシステムを推進します(新規)
主な取り組み	28)	地域包括ケアシステムの確立に向けた連携体制の構築

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
87	在宅医療・介護連携の推進	高齢者支援課	研究会や講演会の実施	28 29 30 31 32	11	回	(H28年度) 医療・介護連携について関係機関と連携し研究会や講演会を開催した。 医療と介護に関する情報を収集した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①医療と介護の関係機関と連携し、情報共有や情報交換をおこない、連携についての課題を検討する。専門職向けの医療介護白書の作成や医療介護連携室の開設を委託。 ②健康寿命を延ばすようにかかりつけ医を持ち、自己の介護予防のために社会参加をして欲しい。
88	認知症施策の推進	高齢者支援課	会議開催回数	28 29 30 31 32	12	回	(H28年度) 認知症地域支援推進員による認知症施策についての会議を開催。新たに認知症相談事業を開始した。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①医療、介護及び生活支援のネットワークを形成し、認知症ケアパスの作成や市民の認知症に対する理解を深める。 ②認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の対応方法を修得してほしい。
89	生活支援サービスの推進	高齢者支援課	開催回数	28 29 30 31 32	2	回	(H28年度) 北部地区で高齢者支援会議を開催。地域での活動について検討した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①地域で社会参加できる機会や場所を確保するため、ニーズを把握し、地域での活動を創設する。 ②ボランティア活動等に積極的に参加して欲しい。
90	地域の医療資源の把握	健康増進課	医療機関数	28 29 30 31 32	120	件	(H28年度) 医療機関情報は、常に医師会・歯科医師会等と連携を密にし、早期に情報を得て、ホームページやガイドブック、医療機関マップ等を随時修正し、市民に周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①市内の医療機関にとどまらず、近隣の医療機関の情報も調べられる媒体(仮称「かまがや安心医療ナビ」)の作成を検討し、発信していく。 ②かかりつけ医を持つこと。

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	高齢者支援課 健康増進課	●『育つまち鎌ヶ谷』の3本柱の中には、医療・健康が入っていないせいか？施策として、他の分野と比べ順調に進んでいるとは言えない。	
87	在宅医療・介護連携の推進	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●医師会内に医療介護連携室を設置したので、行政各課はお気軽に相談されることを望む。ゆくゆくは市民からの直接の相談にも対応するつもりである。 ●医師会以外では、『鎌ヶ谷市医療・福祉事業所連絡会ありのみ会』にて25事業所程で研修・意見交換の機会を持っている。 ●『船橋・鎌ヶ谷病院事務長会』では病院ガイドのホームページを開設(http://funakama-hospital.net/)し、市内の病院一覧と相談担当の氏名や、医療制度などが紹介されている。 ●他団体でも地域包括ケアシステムの構築をテーマに取り組んでいるので、連携の下地は芽生えつつある。 ●在宅医療・介護連携の推進について、自治会・老人クラブ・地区社協が連携して、行政主導で要支援者の情報共有ができる施策を推進する。(福祉ネットワークの当事者意識を拡充することが重要) ●医師会としても地域包括支援システムを推進しているが、鎌ヶ谷市の中で在宅を専門にしている医者は医師会に加入していない。研修をしたりノウハウのあるところから講師の先生を招いたりして鎌ヶ谷市の在宅医療について模索中である。
88	認知症施策の推進	高齢者支援課	●医師会では連携担当看護師が採用され、その働きかけにより、A病院での認知症初診での介護認定主治医意見書の記載がスムーズになっている。
89	生活支援サービスの推進	高齢者支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●北部地区の他、西部地区では、包括支援センターと地区社協で連携して市民ボランティアの活動に向けて情報収集や素案づくりを始めている。 ●東部地区でも地区社協役員と包括支援センターとのミーティングを重ねている。 ●南部地区でも地区社協と包括支援センターでの協働に向けて話し合いを始めている。

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価シート(平成28年度事業)

基本目標	4	地域福祉を支えるネットワークを推進します
施策	10	地域包括ケアシステムを推進します (新規)
主な取り組み	29)	高齢者の生活支援や介護予防支援

No	事業名	担当課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	具体的な取組み(何をどのくらい行ったのか)展開に対してどのような成果があったか	進捗状況(平成28年度)	①課題や今後の方針 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)
91	介護予防・生活支援サービス事業	高齢者支援課	会議開催回数	28 29 30 31 32	2	回	(H28年度) 北部地区で高齢者支援会議を開催。地域での活動について検討した。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①介護予防・生活支援ニーズと地域資源の把握。日常生活にどんなニーズがあるのか把握する。 ②ニーズに応じた介護予防事業の展開。地域の方々が一緒に参加できる仕組みづくりなど、さまざまな立場の方との話し合いをしていきたい。
92	一般介護予防事業	高齢者支援課	参加人数	28 29 30 31 32	68	人	(H28年度) 口腔・栄養・運動の複合プログラムによる運動教室(ちよ筋教室、ニチイ運動講座各週1回、3か月1クール) 認知症に特化した予防教室(のびのび倶楽部週1回、3か月1クール) 各教室、参加修了後に独自で集まるなど参加者の交流が深まっている。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①事業参加修了後の継続的な運動できる場所の確保が課題であり目標。 ②介護予防の目的を理解し、自宅敷地等、場所の提供をお願いしたい。
93	新しい介護予防・日常生活支援総合事業	高齢者支援課	参加事業所数	28 29 30 31 32	20	か所	(H28年度) 平成29年4月の移行に向けてサービス事業者等との協議を行った。	<input type="checkbox"/> 順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 概ね順調だが、不十分な点が少しある <input checked="" type="checkbox"/> 実施されている部分もあるが不十分な点が多い <input type="checkbox"/> 実施方法も含め改善が必要である	(H29年度) ①移行は行ったが、多様なサービスの構築が不十分。高齢者自身が支え手としての地域づくりを目指す。 ②自ら健康づくりに励み、見守り等の互助の支え手になってもらいたい。

No	地域福祉計画策定・推進委員会の意見	意見、行政への要望など	市民、地域・団体でできること
全般	高齢者支援課	●誰もがそのニーズに合った支援を受けられる地域づくりが必要。多世代交流、多機能型の福祉拠点整備により、新しい地域包括支援体制を確立する必要がある。	●介護予防は、大変重要な問題なので、今後健康増進課、高齢者支援課などと相談し、ともにイベントを催したいと医師会は考えている。
91	介護予防・生活支援サービス事業	●介護予防・在宅支援事業について、自治会・老人クラブ等の地域団体が情報共有や協力ができるような会議を持つなど、連携を深めることが大事。 ●北部地区の高齢者支援会議の内容に興味がある。	
92	一般介護予防事業	●運動教室や予防教室を継続して行うことや、参加者を増やす工夫をお願いしたい。	